



午前「宮みこし」一基で西庶路町内を回りました

TOPIC 10 7/16 初めての担いだみこしに感動

パレードに掘削技術専門学校生徒参加

西庶路神社例大祭の大パレードが4年ぶりに開かれ、西庶路三五四會や厳島神社子供神輿、西庶路音頭などが西庶路錦公園前の明治通りを練り歩きました。

午前は、昨年開校した掘削技術専門学校の生徒も担ぎ手として参加。白丁姿で「わっしょい、わっしょい」の掛け声とともに「宮みこし」を担ぎました。

参加した同校生徒の岡田昂大さん(23歳)は「初めてみこしを担ぎました。地元の方々との一体感があって、とても楽しかったです」と話していました。

TOPIC 7 7/9 男子・阿部さん 女子・佐々木さんが優勝

鍛高譚杯パークゴルフ大会

白糠パークゴルフ協会主催の「第19回鍛高譚杯親善どさんこパークゴルフ大会」がパークゴルフインチャロで開催され、男子の部は白糠町の阿部信吉さんが102のスコアで優勝。女子の部は釧路市の佐々木高子さんが104のスコアで優勝しました。大会には町内外から男子の部75人、女子の部35人が参加しました。

男子の部 2位/釧路市・工藤敏己さん(103) 3位/上士幌町・吉田哲二さん(104) 女子の部 2位/厚岸町・岩谷博子さん(105)・3位/白糠町・山口久美子さん(107)



4人がホールインワン賞をとるなど盛り上がりを見せました

TOPIC 11 7/18 教育の新たな第1歩

田中学園との交流事業

各校では、プロ野球北海道日本ハムファイターズの元選手である田中賢介氏が理事長を務める田中学園との交流事業が行われています。

同事業は、英語教育が充実している田中学園から教員を派遣してもらい月2回の授業を実施する計画です。

この日は、田中学園の松浦靖高教諭が白糠学園の1、2年生を対象に英語の授業を行いました。松浦教諭は「実生活に合わせた授業をしています。来年は実際に英語で買い物をさせてみたい」と話していました。



歌と踊りで1~30までの英語を楽しく数える松浦教諭(中央)

TOPIC 8 7/14 アイヌ伝統料理を学ぶ

アイヌ料理教室

アイヌ民族の伝統料理を学ぶ「アイヌ料理講座」がウレシパチセで開かれ、参加者5人が「かじか汁」とフキやコゴミなどを使った「山菜ごはん」、団子に昆布のタレをかけた「コンシト」の3品を作りました。

参加者は、アイヌ文化保存会の会員から作り方やコツを教わり、楽しみながら手際よく調理していました。

遠藤春奈さんは「楽しく作れました。コンシトを知れて良かったです」、及川明穂さんは「昆布の栄養が取れて子どもにもいいですね」と話していました。



揚げた昆布をすりおろし、昆布タレを作る参加者たち

TOPIC 12 7/18 スマートフォンの使い方を学ぶ

はじめてスマホ講座

町教育委員会主催の「はじめてスマホ講座」が公民館で開催され、参加した4人がスマートフォンの基本的な使い方を学びました。

講座ではケイズプランニングの佐々木圭一さんが講師を務め、カメラやライト機能などの基礎知識を指導。

講座に参加した澤口毅さんは「7年ほど前からスマートフォンを利用しているが知らない機能がたくさんありました。わからないところはすぐに聞けるので、参加してよかったです」と話していました。



スマートフォンの使い方を指導する佐々木さん(右)

TOPIC 9 7/15 一人一人が将来のためにできる対策を考える

環境講演会

町主催の「環境講演会」が社会福祉センターで開かれ、NHKプロデューサーの堅達京子氏と環境活動家の露木しいな氏が環境について語りました。

露木氏は、バリ島の10歳と12歳の少女がごみ拾いから始め、レジ袋を廃止するまで環境活動を続けたことを例に出し「一人一人が行動しなければ何も変わらない」と話しました。堅達氏は「CO2を減らした人が得をするような仕組みを構築するとともに個人が頑張らなければ、地球温暖化は止まらない」と述べました。



「環境教育をしてくれると、白糠の未来は明るい」と話す堅達氏